

# The Record *vol.618*

Music enables communication to go beyond languages. This is the reason why some emotions and impressions can be conveyed only through music. Recorded media shoulder the most important role as a vehicle to convey such emotional impressions to people. Despite the changes in the form of music carriers from analog media such as LPs to digital media, its role remains unchanged.

The Recording Industry Association of Japan (RIAJ) contributes toward the healthy development of Japanese culture via various activities including the spread of recorded media and the enlightenment of copyright consciousness.

ジャケットの魅力とその使命

RIAJ セミナー「新入社員研修」開催

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



## Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
ジャケットの魅力とその使命.....	3
私の一枚.....	8
特報	
RIAJ セミナー「新入社員研修」開催.....	9
香港アジア・ポップ・ミュージック・フェスティバル (HKAMF) 開催.....	11
知的財産権保護・啓発フェア in 上海.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISK.....	14

## 3/14

### ISP開示請求訴訟判決

3月14日、東京地方裁判所は、インターネットサービスプロバイダ (ISP) 1社に対し、ファイル共有ソフトを利用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロードしていたユーザー6名の氏名等を、下記の当協会会員レコード会社9社に開示するよう命じる判決を下した。

この訴訟は、下記レコード会社がISP1社に対し、ユーザー6名がファイル共有ソフトを使い、音源を許諾なくアップロードしている行為が、各社の著作隣接権を侵害しているとして、「プロバイダ責任制限法」第4条第1項に基づき、ユーザーの氏名、住所等の情報の開示を昨年8月に求めたものの、ISP側が裁判所の判断によらず情報を開示することは控えると判断したため、本年1月に訴訟を提起していたものである。

今後、下記レコード会社は、ISPから住所、氏名が開示されるユーザーに対し、損害賠償請求等を行う予定である。

#### 【原告レコード会社】

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン  
エイベックス・エンタテインメント株式会社  
株式会社エピックレコードジャパン  
株式会社ジェイ・ストーム  
株式会社EMIミュージック・ジャパン  
株式会社ポニーキャニオン  
株式会社エスエムイーレコーズ  
ユニバーサル ミュージック合同会社  
日本コロムビア株式会社  
(計9社、訴状の当事社目録順に記載)

## 3/25

### 理事会・総会開催

3月25日、東京都渋谷区のアイビーホール青学会館において、当協会は第439回理事会および臨時総会を開催し、平成23年度事業計画案および収支予算案が承認された。

事業計画の詳細については、6月号に掲載予定。

## 3/29

### RIAJセミナー開催

#### 「プロモーションシーンにおけるネット系メディアの変貌とソーシャルネットワークサービスの効果的な活用術」

3月29日、東京都新宿区の日本青年館において、第32回RIAJセミナーが開催された。今回のセミナーは、(株)博報堂DYメディアパートナーズ i-メディアソリューション局 ソーシャルメディアビジネス部 メディアプロデューサースーパーバイザー 兼 メディア環境研究所 主任研究員 森永真弓氏を講師に招き、「プロモーションシーンにおけるネット系メディアの変貌とソーシャルネットワークサービス (SNS) の効果的な活用術」をテーマに、新しいプロモーションツールの一つになりつつあるSNSについて、ユーザーとの関係性、SNSとマスメディアの違いについて講義が行なわれた。100名を超える聴講者は、著しく変化するプロモーションシーンのトレンドを捉えようと熱心に聴講し、今後の継続的な実施を望む声が数多く寄せられた。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

# 4/19

## RIAJセミナー開催 「インターネットリテラシー」 ～ウェブサイトやブログの 運営上の注意点～

4月19日、東京都港区のコンフォートにおいて、第35回 RIAJ セミナーが開催された。今回のセミナーは、評論家の荻上チキ氏を講師に招き、「インターネットリテラシー」～ウェブサイトやブログの運営上の注意点～をテーマに、ウェブの炎上と企業の応答責任について、具体的事例に基づきながら、講義が行なわれた。セミナーの参加者からは、「対応事例・注意点がまとまっており、勉強になった」「今後も同テーマのセミナーを実施して欲しい」といった多くの感想が寄せられた。

### 第一回「動画サイトの 利用実態調査検討委員会」開催

動画サイトから音楽や音楽ビデオクリップなどをダウンロードする行為の実態を把握するため、「動画サイトの利用実態調査検討委員会」の第一回会合が4月15日に開催された。本委員会は東京大学教授の濱野保樹氏を座長に選任後、学識経験者、ユーザー代表、プロバイダおよび官公庁のメンバーによって調査内容についての検討が行われた。今後、5月に調査を実施し、6月に開催予定の第二回委員会では、調査結果の検証を行う。

本実態調査の結果については、報告書がまとまり次第、当協会ホームページ等で公表する予定。

### ■濱野保樹座長コメント

音楽のあり方は、いつもすべてのコンテンツを先導しており、音楽の行く末を見れば、未来が見えると言われています。今回の調査は印象だけで語っていた、音楽の時代の変わり目の大きな変革に根拠を与える、重要で国際的にも希有な試みであり、他のコンテンツにも寄与するものだと考えております。

### 【動画サイトの利用実態調査検討委員会委員】(敬称略)

濱野保樹(東京大学)  
鎗目雅(東京大学)  
高野ひろみ(特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟)  
太下義之(文化政策研究者)  
吉田奨(ヤフー株式会社)  
杉本誠司(株式会社ニワンゴ)  
寺崎圭太郎(一般社団法人日本レコード協会アドバイザー)

### 【オブザーバー】

総務省、文化庁、経済産業省

※なお、第二回委員会は、一般の方々に公開する形での開催を予定しています。傍聴の受付については、後日、当協会公式サイト(<http://www.riaj.or.jp>)にてご案内致します。

### SP 盤等音源のデジタル化 予定総数の半数を完了

平成 21 年度から SP 盤音源のデジタル化と国立国会図書館への納品を推進している歴史的音盤アーカイブ推進協議会(代表幹事 佐藤 修/一般社団法人日本レコード協会顧問)は、事業全体の納品予定数の半数にあたる 2 万 5 千音源のデジタル化と納品を、平成 22 年度末までに完了した。

かつて、時代の世相を伝える録音メディアとして重要な役割を担っていた SP 盤等が、時代の経過と共に、昨今、散逸・消失或いは劣化し始めている。歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)は、歴史的・文化的資産であるこれらの音源を保存し、広く国民に公開、伝承することを目的として、2007 年 4 月 27 日、日本放送協会(NHK)、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)、社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)、財団法人日本伝統文化振興財団、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)、一般社団法人日本レコード協会(RIAJ)の 6 団体によって設立された。

HiRAC では、平成 21 年度から主に音楽・演説等の 1900 年初めから 1950 年頃までに国内で製造された SP 盤を対象に、約 5 万音源のデジタル化に着手した。デジタル化する音源は、平成 24 年度まで 4 年間の計画で、国立国会図書館における保存・公開のため同館に納品されるが、2 年目となる平成 22 年度末までで半数にあたるおよそ 2 万 5 千音源の納品を完了した。

なお、国立国会図書館では 2011 年 5 月の同館内における公開開始に向けて準備を進めている。

## RIAJ2011 年 4 月度理事会議案

### ■ 審議事項

1. 東日本大震災による被災店の状況と支援策について
2. 被災地へのレコード寄贈について
3. 第 4 回 CD ショップ大賞の予算措置について

### ■ 報告事項

1. 法制委員会関係報告
  - (1) SARVH 関係報告
  - (2) 東日本大震災による被災商品の補填のための出庫に係る「著作権使用料」、「印税」の計算対象からの除外依頼について
  - (3) 文化審議会著作権分科会報告
  - (4) 動画サイトの利用実態調査検討委員会報告
2. 情報・技術委員会関係報告
  - (1) 携帯専用サイトのクローリングに関する総務省調査研究事業の結果報告
3. 広報委員会関係報告
  - (1) 平成 22 年度職場訪問受け入れ実績報告

### 日本のレコード産業英語版 「RIAJ Yearbook 2011」を発行

当協会では、「日本のレコード産業 2011」の英語版である「RIAJ Yearbook 2011」を発行しました。本誌は、2010 年のレコード産業の概要を網羅した A4 判 28 頁の小冊子で、日本語版と同様の内容で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上等を幅広く掲載しています。

なお、本誌の PDF 版については、当協会ホームページ(<http://www.riaj.or.jp/>)をご覧ください。



# ジャケットの魅力と その使命

近年、音楽配信の登場により、ユーザーの音楽の楽しみ方も多様化してきたが、その音楽配信では味わえないパッケージの魅力の一つに音楽ジャケットがある。ジャケットは、限られたスペースの中で、アーティストのメッセージと作品の世界感を視覚化し、音楽ファンに訴えかける

役割を果たしてきた。かつて音楽ファンは、ジャケットを眺めながら聴覚、視覚、触覚など五感を駆使して音楽を楽しんだり、ジャケットをアートとして捉え、鑑賞用として部屋に飾ったりもした。また、ジャケットから受けるインスピレーションだけで購入を決意する「ジャケ買い」という消費行動も見受けられた。

今月号では、音楽ジャケットに焦点をあて、さまざまな立場の方から、その魅力について熱く語っていただき、また、ジャケットを文化として捉えた取り組みを紹介する。

パッケージの魅力の一つであるジャケットという観点から、購買のきっかけとなるヒント、特にパッケージ購入率の低い若年層へのアプローチ方法を探る。

ジャケット制作の最前線で活躍するグラフィックデザイナーの菅原義浩氏に、ジャケット・デザインの特徴や面白さ、難しさなどについて、語っていただいた。

## 音とアーティストのイメージに入り込んで



菅原義浩氏  
アートディレクター/デザイナー  
boris graphic engineering

### Ⅱ デザインの原点はレコード店のPOP担当Ⅱ

私は最初からデザイナーとして、ジャケット・デザインをやっていたわけではありません。仙台市のタワーレコードでPOPを担当していたのが、そもそもの出発点です。そこで自分の根が形成されたと思っています。メタルからクラシックまで、CDの音を聴いてPOPを作っていく作業を通じて、ジャンルごとにどんなニュアンスで、どうアプローチすればいいのか、基本になる取り組みを身につけていくことができました。その後独立して、販促用の看板制作などを手がけるようになり、11年ほど前から本格的にジャケット・デザインの世界に入って、仕事をするようになりました。

もともと音楽が好きで、高校時代、ただ漠然と「やってみたいな」と思っていたジャケット・デザインができるようになったのも、販売現場でもまれ、いろいろな人との縁ができたからだ、と感謝しています。

### Ⅱ アイデア出しのために「旅」に出るⅡ

ジャケット・デザインで一番気にかけるのは、アーティストに喜ばれること。ですから、アーティストのイメージや思いをしっかり受け止めることが大切です。そしてもう一つ、

重要なのは「音」へのこだわりです。自分でしっかりと聴いてイメージづくりに力を注ぎます。そうしてデザインのアイデアを組み立てて、アーティスト、レコード会社へ提案していくのですが、このアイデア出しの部分が一番大変ですね。

実際の方法論はいろいろありますが、たとえば、アーティストのイメージと曲のイメージを総合して、「暖かい感じ」なのか「クールな雰囲気」なのか、あるいは「古びた感じ」なのか「最先端のイメージ」なのか、といった基本的な方向性を決めた上で、さらにいろんな要素を加えていくようにしています。歌詞のなかからキーワードを引っ張ってきて、イメージの芯にする場合もあります。私の思いとして、押し付けがましいデザインにしたいくありませんから、ここは慎重に作業します。

具体的な手法では、写真を撮影・加工するケース、抽象的なイメージのデザイン処理でいくケースなど、これもまたさまざまですが、自分としては写真を使う手法がやや得意かな、と感じています。かつてPOPや看板を作っていた経験が生きているように思います。

平均して一カ月くらいで一作品を仕上げるスケジュールで、いくつも並行して進めていきます。いったん作業にかかると、その世界に入り込むので、なかなか休めない。毎日次々にいろんなところへ行く感じです。難しいのはイメージを作りにくい新人アーティストの作品とコンピレーション・アルバム。特にコンピレーション・アルバムは素材がない上に、相当のインパクトも求められるので大変です。何日か「旅」に出ないとできません。

11年で300点以上デザインしてきました。最初はメーカーの意向や時代をかなり意識していましたが、最近は聴き続けてきた音楽の蓄積をうまく消化して出せるようになってきたかな、と感じています。思い切ったアイデアもセーブしないで出せるようになりました。

やはりアーティストの評価が一番ですが、たまたまデザインを目にした人からの評価も励みになります。デザイナー志望の学生から問い合わせがきたりすると、本当にうれしいですね。

## II ジャケットのあるライフスタイルの格好良さ II

ジャケットの魅力は、アーティストの世界観が凝縮されているところです。インナーの写真を見て格好いいなと思ったり、ファッションに憧れたり。ファンとアーティストをつなぐものでもある。また音楽とリンクして覚えやすく、ジャケットを介してアーティストや音楽について語り合う楽しみもあります。CDやレコードを持って並べるだけでも、その人のライフスタイルや精神性が垣間見える場合もあって、面白いですね。そこからまた、恋人との関係が深まったり、友人同士で世界を広げあうきっかけにもなる。そう考えるとジャケットは、音楽と自分だけのものではなく、それ以上のコミュニケーション・ツールになるんじゃないかと思うんです。私は、作る側の立場を離れても、やはりジャケットのあるライフスタイルは格好いいと思いますし、好きですね。



タワーレコード仙台店にてストア・アーティストとして、店内のPOP/ディスプレイを担当。その後「スタイルコンピレーション」にてHMVなどレコード店のPOP制作などを経て、2000年に活動の拠点を東京に移す。2002年「有限会社 ボリス・グラフィック・エンジニアリング」設立。主にCDジャケット・デザインを中心に活動中。  
www.borisgraphic.com

タレントのクリス松村氏は、現代日本の音楽シーンに詳細な知見を有する、比類のないレコード・CD コレクターという顔をお持ちである。今回の企画にあたり、レコード・ジャケットの魅力や制作側に期待することなどを存分に語っていただいた。

## 一枚のレコードに愛情を注ぐ



クリス松村氏  
タレント  
フィットネスインストラクター

### Ⅱ 心に刻まれたレコード、ジャケットの記憶 Ⅱ

今度の大地震の後、沈みがちな気持ちで過ごす中、よみがえってきたのは、まだレコードに触れたこともない幼い頃に聴いていた、洋楽の数々でした。当時私はイギリスに住み、『雨に濡れても』や『パフ』といった曲を知らず知らずに耳にしていたのです。そういう音楽の原体験を経て日本に帰った後、レコードを持つ喜びを知りました。初めてレコードを買ったのは、忘れもしません、1977年の正月。お年玉をもらって岩崎宏美の『ドリーム』、郷ひろみの『寒い夜明け』、西城秀樹の『ラストシーン』、太田裕美の『しあわせ未満』、野口五郎の『むさし野詩人』といったシングルを手にした感動は、鮮明に覚えています。レコードプレーヤーをずっと眺めて、どうして音が鳴るのか、などと考え込んでいたものでした。

その後はレコードの魅力にはまり、高校時代には小遣いでは足りずに、アルバイトでレコード購入資金を得るようになりました。LP1枚が2,200円～2,800円くらいで、当時は高額な商品ですから、なかなか手に入られない。レコード店に飾ってある、オリビア・ニュートン・ジョンの『虹色の扉』や、ダイアナ・ロスの『ファースト・レディ』を食い入るように眺めていたことも思い出されます。手に入れたレコードは、大切にジャケットの隅から隅まで、なめるように見ましたね。シングルのジャケットの裏にモノクロで入っているアーティストの写真も、ある意味、歌以上に楽しみにしていました。私の世代は、一枚のレコード、一枚のジャケットはものすごく価値の高い、重要なものだったんです。マーティ・リーボウというアルバム1枚しか出していない歌手がいますが、私は、彼女のレコード・ジャケットが大好きなんです。ショーウィンドウに飾ってある、それこそいろんなアーティストのジャケットを、十代の少女が見ているシーンなのですが、彼女の憧れる気持ちが伝わってくる。「あのレコードがほしいな」。自分も1円玉を貯めに貯めて、レコード店のショーケースに飾られたシングルを買いに行ったことがありましたから。

### Ⅱ CDの特典にまつわるアラカルト Ⅱ

私はCDの予約特典なんかも大好きで、いろんなお店を回ってポスターやクーポンを入手してきました。昔はお店ごとの限定された特典も多く、それを全部ゲットしたいものですから、どの店にも通いつめる感じになって。それほど一枚一枚を買うのに一生懸命だったんですね。もっとも、予約特典も70年代まではポスターなどシンプルなものが多かった。特典が購買のフックになるほど目立ち始めたのは、82年組と呼ばれるアイドルたちがデビューした頃でしょう。今当たり前になったA盤、B盤も当時の南野陽子が原点です。特典の争奪戦もすごくなり、特にピークはおニャン子クラブでした。7万円で取引

された『新田恵利トランプ』や、国生さゆりさんの『しゃべるレコード』などが思い出されます。私がレコード店で一枚だけ残っていたおニャン子クラブのシングルを購入したとき、2階から見ていた熱狂的なファンに、そばにあった楽譜をドサリと投げつけられたこともありました。

80年代にはまた、ミュージカルと連動して、主題歌のCDがパンフレットと組みで、開催地限定で販売されるケースもありました。レコード店に並ばずにレコードが販売されるもので、そんな変化球の商品も魅力的でした。これ以外にもアーティストのメッセージが入ったウィスパーカードなど、さまざまなレコードがあって楽しかったですね。

## II 好きなジャケットとジャケ買いの面白さ II

毎年飾り続けている一枚のアルバム・ジャケットがあります。それは山下達郎の『FOR YOU』。このアルバムは、J-POPの幕を開いたものだと思っています。もちろん、稲垣潤一のようにJ-POPの幕開けとともに新人として現れたアーティストもいますが、『FOR YOU』が出た頃から、学生のトレンド意識が統一されてきたように感じます。『FOR YOU』を聴かないとダサいとか、大滝詠一の『A LONG VACATION』を聴かなきゃだめだよとか、よく言われていました。そういう時代を反映していたわけです。ほかにはシングルで吉川晃司の『モニカ』も好きなジャケットです。あと、昔のジャケットでは、レーベルごとに個性が際立っていたところも面白かった。なぜか、つい買ってしまうデザインとかあるんです。

ジャケ買いも大好きで、特に洋楽には力が入りました。海外アーティストの謎の部分が魅力でした。六本木の専門店へ行って1枚2,000円で購入していました。いつも当たりではなく、まずいものを食べることになる場合もありますが、謎めいたもの、デザインのいいものは聴いてみたくなる。ジャケ買いで当たりを引くと本当にうれしいものです。自分だけがこの素晴らしさを知っている、と。一方でジャケットだけ気に入って保管していることもありますよ。

## II パッケージ製品の築いた文化を未来へ受け継ぐために II

私がレコード・CDを集めるのは、今や、自分の満足のためだけではありません。ジャケットの文化は私たち音楽ファン共通の財産だと思うんです。貴重なものをしっかり集めて、いずれ後世の人が活用できるようにしたいと思っています。100年後にまで残るように。文化を守る、という観点から言えば、作り手側にもリバイバル作品を出すとき、検証などにも気を使っていたいただきたいところです。

その先にはジャケットを含むパッケージ製品が築き上げた、総合的な音楽文化の発展というものがあります。今は、配信に比重が置かれ、若い人たちの間では、なかなかパッケージの良さに目が向かない状況もあるかと思います。でも完成度の高いパッケージ作品なら、この状況を打開できるかも知れません。紙ジャケが出て、私たちの年代層の購買意欲は、ぐっと高まったと思います。自分も出ればどんどん買ってしまう。昔のいい作品が新たに出てきていますからね。たとえば、レコード時代のA面、B面の感覚を大切にしたいアルバムづくりなどもあってよいと思います。作品として完成度を高める方向でできないでしょうか。アーティストの世界を広げるために、プロの作詞家、作曲家を上手に活用するのもよい方法でしょう。

一枚の作品を、愛情を持って、手塩にかけて作り上げてほしい。そういう作品を私たち音楽ファンは待っています。失敗をおそれず、冒険してみるのもいい。失敗だと思われたものが後に大ヒットしたことは、いつの時代にもあったわけですから。(談)



外交官の長男としてオランダの政治都市バークで誕生。5歳の時お受験のため帰国。学習院初等科に入学後イギリスへ。帰国後日本に在住するも、学生時代にアメリカ、カナダ、ブラジル、メキシコ、フランス、オーストリア、ポルトガル、エジプト、ギリシャなどの外国各都市をまわる。大学卒業後、広告代理店に勤めるも激太り。3カ月で30kgのダイエットに成功。インストラクターへ転進。かたわら邦楽、洋楽問わずの音楽好きが高じてCDの音楽解説も。アナログ盤、CD、DVDなど2万枚所有、現在も収集中。現在CX系「ヘキサゴンII クイズパレード!」「HEY!HEY!HEY! (今聴きたい名曲コーナー)」に出演中。

## 「ジャケ買いのビガク 誘惑するジャケットデザイン」開催

折しも、今回の企画にピッタリのイベントが、東京都世田谷区で開催された。公益財団法人せたがや文化財団・生活工房の主催による、その名も「ジャケ買いのビガク 誘惑するジャケットデザイン」である。

2011年4月10日～5月8日を会期に、世田谷文化生活情報センター 生活工房ギャラリー（三軒茶屋キャロットタワー 3F）で行われた同イベントには、“ジャケ買い”をテーマにした映像ドキュメンタリー\*のほか、ジャケット・デザインを手がけるグラフィック・デザイナーの選んだ“ジャケ買い”した、または“ジャケ買い”したくなるレコードが展示された。またレコード店の商品棚を模してたくさんのLPが陳列され、手にとって自由試聴し、ジャケ買いを体感する仕掛けも用意された。このほか関連イベントとして、「“ジャケ買い”ドキュメンタリー」に出たデザイナーらによるトークイベントなども設けられた。

イベントの企画・運営に携わったプロデューサーの杉本勝彦氏に企画意図について伺った。

## \* “ジャケ買い”ドキュメンタリー:

グラフィックアーティスト・伊藤桂司氏とアートディレクター・森本千絵氏の“ジャケ買い”に密着したドキュメンタリー。二人がそれぞれ“ジャケ買い”したレコードのレコード盤だけを後で交換し、その音楽のみからインスピレーションを得て、お互いに新デザインのジャケットを制作する、そのプロセスを記録したもの。イベント会場内で随時上映され、制作ジャケットも併せて展示された。



杉本勝彦氏  
公益財団法人 せたがや文化財団  
世田谷文化生活情報センター  
生活工房 プロデューサー

生活工房では、「デザインで生活を豊かにする」ことをテーマに掲げ、展示やイベント、国際交流など多様な活動に取り組んでいます。

今回のイベントもその一環ですが、背景には、まず世田谷区に下北沢という音楽・レコード文化の発信地のあることがありました。世田谷の魅力ある文化としてクローズアップできるわけです。また私自身、音楽が好きで、ジャケ買いも結構やっていたのですが、最近ではレコードはおろか、CD さえも手にしたことのない子どもたちがいます。ジャケットのデザインの素晴らしさ、面白さを知っているだけに、残念でなりません。音楽配信の普及によって損なわれつつあるジャケットデザインの魅力を伝え、再認識してもらおう機会を作れないかということもあって、今回の企画に至りました。ジャケットならすぐ見て楽しめるし、レコードの持つ多様な魅力を感じてもらえるのではないかと考えました。

懐かしんで訪れる中高年層のほかにも、レコードを初めて見たという若い方もみえ、プレーヤーで実際に音を聴いて感動されていました。このようなイベントが、音楽配信に慣れた若い世代の皆さんにとって、レコードやCD等のパッケージの魅力や音の深みに触れるきっかけとなれば、嬉しいですね。

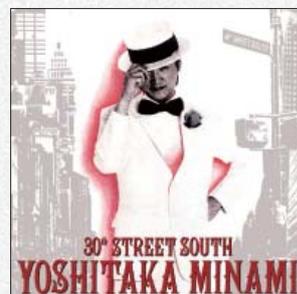
# 私の一枚



高久光雄

一般社団法人 日本レコード協会  
監事  
(株式会社ドリーミュージック・  
代表取締役社長兼 CEO)

## ● 「30<sup>th</sup> STREET SOUTH ～ YOSHITAKA MINAMI BEST」 (南佳孝)



ここ数年再びオーディオに填っています。昔はレコード会社の社員・イコール・オーディオ・ファンという構図があったのですが、見回してみると社内にはほとんど存在せず、多分業界の中でも今や少数勢力と言えましょう。そこで二年前ぐらいから友人であるオーディオ評論家の和田博巳氏を囲んで業界の残り少ないオーディオ・ファンと語らいのひとときを持ち鬱憤を晴らしています。CDの登場以降、CDが完璧な音、又はスタジオで聴くことで終わっているのではないかと。「もっといい音」、「もっと好きな音色」を追求する姿勢が個人ベースで有って良いのではないかと思います。アメリカのオーディオメーカーから発売されているオーディオ・プロセッサーOLIVEを購入し、自宅にある2千枚ほどのCDを16ビットから24ビットにアップする作業を悶々と毎日送っています。デジタルも極めて行けばひたすらアナログに近づいてゆきます。そこで僕がオーディオ・チェックと観賞をかねて聴いているのが、南佳孝のSACD盤「30<sup>th</sup> STREET SOUTH～YOSHITAKA MINAMI BEST」です。自らディレクションしてスタジオで完成した音源を自宅でチェックするという楽しみ、まざまざとその時の状況が蘇ります。そしてジョニー・ハートマンの「I JUST DROPPED BY TO SAY HELLO」、最高のクルーナーと飽くまで伴奏に回りながらも粋なフレーズを乗せてくるジャズ・プレイヤー達、未知のスタジオ風景を追いながら勝手に想像する楽しさがあります。必ずしも名盤イコール愛聴盤ではないのです。

このような音楽に接すると、今、我々が5年後、10年後経っても愛される音楽を、新しいシーンとして創ってゆく使命感をひしひしと感じます。

## RIAJ セミナー「新入社員研修」開催

4月5日、当協会は会員社新入社員を対象としたRIAJセミナーを開催した。東京都港区のコンフォートで行われた研修では、当協会企画部須貝副部長より「レコード業界について」、法務部楠本副部長より「レコードに関する著作権の基礎知識」をテーマに講義が行われた。セミナーに参加した会員社の新入社員は、真剣な眼差しで講義を聴講した。

引き続き、アーリーズテラスに移動し、懇親会が開催された。当協会石坂会長は、冒頭の乾杯の挨拶で、晴れて音楽業界の一員となった新入社員を歓迎し、今後、業界を引っ張っていく存在になって欲しいと若き才能に期待を寄せた。懇親会では、新入社員同士、積極的に交流が行なわれ、歓談の合間に行なわれた各社ごとの自己紹介では、個性溢れるスピーチやパフォーマンスで会場を大いに盛り上げた。最後に日本コロムビア(株)奥野恒人 人事部部長より、元気な挨拶を忘れずに、この業界の横の繋がりを大切に、日々成長して欲しいとのメッセージが送られ、閉会となった。



日本コロムビア株式会社



キングレコード株式会社



株式会社テイチクエンタテインメント



ユニバーサル ミュージック合同会社



株式会社 EMI ミュージック・ジャパン



日本クラウン株式会社



株式会社ポニーキャニオン



エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社



一般社団法人日本レコード協会

RIAJセミナー「新入社員研修」を終えた新入社員に対しアンケートを行った。回答の一部を紹介する。

## レコード業界（会社）への志望動機

- 中学生の頃から生活の中で多くの音楽と触れてくる中で、一生の仕事としてレコード業界に関わりたかったから。
- 音楽は人を支え、元気を与えます。私も音楽に支えられた時が何度もありました。質の良い音楽をより多くの方に聞いてほしい、そして、充実した生活を送ってほしいと考え、制作・マーケティングに関わるレコード業界を志望しました。
- 音楽が好きだから。特に私は60～70年代の音楽が好きなのですが、そういう音楽が今もなおCDとして、手に入るのはメジャーのレコード会社etcがあるからで、でも、その音楽業界自体が元気がないのが、悔しかったからです。
- 私自身、自宅にCDを3,000枚近く持つ程、CDというパッケージ製品・音楽が日常に溶けこんでいました。趣味で、オリコンランキングをみる癖があり、その数値をみては悲しい気持ちになると同時に、自らこの業界に足を踏み入れて音楽を守りたい、そして盛り上げていきたいという思いが強かったからです。
- 音楽を通じて、多くの人に感動を与えたいと思った。スポーツと音楽を共有させ、最高のエンターテインメントを作りたい。
- 音楽は人に多大な力を与えてくれるツールだと思っています。実際、私もその内の1人です。これまで自分が音楽に力をもらった分、今度は多くの人へ「音楽の力」の大きさというものを伝えて行きたいと思い、本業界を志望いたしました。
- エルダー層をターゲットとした音楽ビジネスをしたいという思いがあったから。（これから、若者で面白いことをしますので、期待してください。）
- 音楽を伝達する道具は変わったりなくなったりするかも知れないが、音楽自体は永遠に残り続けるものであり、それを如何に後世に伝えていくのかに興味を持ったから。
- エンタテインメント（音楽）を通して、アジアの経済を発展させたいと思っていたからです。また、人の人生に影響を与えるエンタテインメント（音楽）を発信していきたいと思ったからです。
- ずっと身近な存在だった音楽でビジネスをしてみたかったから。私自身、高校生から大学1年までパバド活動をしていて音楽の持つ力に魅了された。また、クラブイベントのオーガナイザーを経験した際、音楽は人を楽しませる力を持っていると感じた。
- この世から音楽をなくしたくないから。

## 研修会感想

### 1. レコード業界について

- レコード業界の現状についてよく知ることが出来たというだけでなく、冒頭のVTRでは、実際、曲のリリースの一例映像を流して下さった事が「音楽ビジネス」の流れをイメージしやすかった。
- パッケージ販売の低下、違法ダウンロードの増加等、問題に加え、天災を経ての業界の状況を改めて認識し、どうしていくべきか考えるいい機会となった。
- 長い歴史を感じたのと同時に、下降気味である現状を、切に感じました。パッケージと配信、その他のビジネスまで関連させ、どのように盛り上げていくべきか考えさせられました。
- 日本は、レンタル店や、無料ダウンロードといった問題により、パッケージの売れ行きが落ちていく中、パッケージの売上があがるような対策を考えたいと、改めて考えました。
- レコード協会で行われていることを詳しく知ることが出来てよかった。世界2位を誇る日本の音楽産業でも年々売上が減少しているのはくい止めたいと思った。音楽は絶対なくなるから、どうやって今後のレコード業界を盛り上げていくか、もっと考えてみようと思った。
- 音楽業界の方向性を学べた。ここ10年の間でも激しく動いていたのを知った。個々のレコード会社だけでなく、日本の音楽のあり方というものを考えさせられる内容でした。
- 全盛期に比べると、規模は小さくなっていて、違法DLといった現代社会ならではの問題もあるが、音楽というものは人の人生、生活を豊かにするものなので、私たちが新しい風となって盛り上げていきたい。
- 私が独自で勉強したことや、自社の研修で教わったことが、ビデオを通して大変分かりやすく説明されており、とてもいい復習になったし、レコード業界の動きがよりよく理解できた。
- 近年“CDが売れない”、“低迷”などマイナスなイメージで溢れているように感じますが、音楽が無くなるということは決してないと思います。時代に合わせて音楽との関わり方が変わってくるのは当然のことなので、これからは、更に私達が多くのメディアに対応しようとするのが大切だと感じました。
- とても分かりやすくて良かった。会社での研修だとどうしても内部の情報しか入ってこないが、こういう風に同業界が一同に会して行う研修はかたよりもなく、業界としての知識をつけられると感じた。

### 2. レコードに関する著作権の基礎知識

- 一番衝撃的だったのは、違法ダウンロードファイルの数です。啓発活動や呼びかけで皆にまず違法なんだということを知ってほしいと思います。
- まわりの友人でも違法ダウンロードをしている人がいて、皆罪を犯している意識も無く、気軽にダウンロードをしまってます。今後のことを考えても何か対策を講じないと、音楽業界の未来はないと思いました。
- 普段、悪気はなくても、それが法に触れることを知らずに行為に走っている人も私を含め多いと感じた。もっと伝えていくことが重要なのではないかな。
- 無料ダウンロードに対しての知識が浅かったと思う。実際の数字を見て驚いた。これから私たちが働いていく業界に大きな問題を与えていることだから、どうにか策を考えなくてはいけないと思った。
- 違法DLの話聞いて、需要自体はすごくあるんだな、と思いました。ピンチではありますが、逆にチャンスでもあるのかなと思います。違法DLが利用される理由を探し、それをうまく利用して次のビジネスにつなげていけたらいいんじゃないかなと思います。
- リスナーであった頃を思うと、耳が痛い話だった。正直、過去に違法ダウンロードはしたことあるし、友人の中でもまだしている人はいると思う。ただ、最後の6,000億以上の利益を損失しているという話がありにも衝撃的だった。これからは業界で働く人間として、もっと考えていきたいと思います。

## その他

- レコード業界自体については、案外市販の書籍などの情報では把握できないところが多く、私は就職活動中に業界研究をする際に大変苦労しました。“本では情報がアップデートされていないことも多い”と常日頃思っていたので、就活中の学生にも本日のような研修の機会があると有難いと考えます。
- 著作権の話はとても為になりました。お忙しい中、講義頂きまして、ありがとうございました。
- 説明がとても分かりやすくて、聞きやすかったし、理解できました。こういった機会を与えて頂いたことにとっても感謝しています。今後一人の業界人として、最高のエンターテインメント、レコードを作れるように努力したいと思います。
- 仕事柄、同業他社の人と働く機会も多いので、このような会があるととても安心だし、今後活かせると感じます。本当にありがとうございます。

## 香港アジア・ポップ・ミュージック・フェスティバル (HKAMF) 開催

3月23日、香港コンベンションセンターにおいて「香港アジア・ポップ・ミュージック・フェスティバル (HKAMF)」が開催された。

このフェスティバルは、IFPI (国際レコード産業連盟) 香港グループが、香港政府の助成を受け、東アジア7地域 (中国、香港、台湾、日本、韓国、シンガポール、マレーシア) の音楽マーケットが協力し、東アジアを一つの音楽市場とすることを目的として開催されたもので、世界各国で大きなセールスに結び付く新人アーティストを探すコンテストと、7地域で有名な人気アーティストのパフォーマンスで構成されている。

日本からも、新人アーティストとして熊谷育美さん ((株) テイチクエンタテインメント)、パフォーマンスアーティストとしてAAAさん (エイベックス・エンタテインメント (株)) がエントリーされ、また審査員としてNHKエンタープライズのエグゼクティブプロデューサー 山中宏之氏、フォーラムのスピーカーとして (株) レコチョク代表執行役社長 加藤裕一氏が参加する予定であったが、3月11日の東日本大震災・その後の福島原発の状況を鑑み、参加を見送った。

まず、3月21日、各国からコンテストに出演する新人アーティストの記者会見がL'HOTELにおいて開催され、中国からWu Qiong (呉琼)、香港からWilliam Chan (陳偉霆)、台湾からSIGMA、韓国からThe Boss、シンガポールからKewei Tay (鄭可為)、マレーシアからBunkfaceが参加し、数多くの香港メディアのフラッシュを浴びた。今回参加を見送った気仙沼市出身の熊谷育美さんはビデオ映像を寄せ、本人のコメントと自身で撮影した被災地の写真が上映された。22日には、パフォーマンスアーティストの記者会見が香港コンベン



HKAMF の出演アーティスト

ションセンターにおいて開催され、中国からBibi Chou (周筆暢)、香港からJoey Yung (容祖兒)、台湾からLOLLIPOP F (棒棒堂)、韓国からSuper Junior M、シンガポールからJJLin (林俊傑)、マレーシアからFish Leong (梁靜茹) が参加した。

23日の午後には、「Music in One Asia ~アジア音楽市場の統合のために~」というテーマで、7地域の業界関係者によるフォーラムが開催された。モデレーターとして、Gold Typhoon Entertainment Limited (金牌大風) 首席執行官 Chan Fai hung (陳輝虹) 氏、スピーカーとして中国から北京太合麦田音楽文化発展有限公司首席執行官 Song Ke (宋柯) 氏、香港からIFPI 香港グループ総裁 Rickey Fung (馮添枝) 氏、台湾から台湾 TVBS 電視台プロデューサー Joan Sun (孫玉勤) 氏、韓国からKAPP Senior Managing Director Jang, Seok Woo 氏、シンガポールからOcean butterflies international (海蝶國際) regional a&r director billy koh (許環良) 氏、マレーシアからマレーシアレコード協会会長 Norman Abdul Halim 氏が参加した。日本からは (株) レコチョク代表執行役社長 加藤裕一氏の代理として当協会海外グループ阿部グループ長が参加し、レコチョクの概要・日本の市場動向・レコチョクのシェア・成功の要因・ユーザー分析・今後の展開等についてプレゼンした。他国からは、自国の音楽産業の実態を中心に、90年代は日本音楽に焦点を当てていたが、21世紀を向かえ韓国音楽に注目している等、時代に合わせた取り組み方と共にターゲットとしている国が変化している状況が語られた。このフォーラムには、聴講者として、各国の音楽業界からと一般客が約120名集まり、講演後は多くの質問が寄せられた。

「香港アジア・ポップ・ミュージック・フェスティバル (HKAMF)」は23日夜、香港コンベンションセンターで開催



新人アーティストの会見



パフォーマンスアーティストの会見

され、8,000人の観客が集った。フェスティバル冒頭には、記者会見時に上映された熊谷育美さんのビデオコメントが流され、会場を埋め尽くした観客から、被災地に対する温かい声援・激励の大拍手が鳴り響いた。フェスティバルは、新人アーティスト及びパフォーマンスアーティストが混合された形式で進行された。新人



新人コンテストの授賞式

アーティストは、第一次審査で自分の持ち歌を披露し4組に絞られた段階でヴォーカルパフォーマンス賞とステージパフォーマンス賞が決定した。ヴォーカルパフォーマンス賞には中国のWu Qiong（呉琼）、ステージパフォーマンス賞には、韓国のThe Bossが選ばれ、その後、第二次審査に進み、選ばれた4組の新人アーティストによるカバー曲の歌唱が披露された。4組とも新人ながら実力を兼ね備え、最終的に中国から参加したWu Qiong（呉琼）が抜群の歌唱力を発揮して、スーパーノーバ賞に輝いた。

## 知的財産権保護・啓発フェア in 上海

3月18～19日、当協会が加盟しているコンテンツ海外流通促進機構（CODA）は、中国・上海において「2011年知的財産権保護・啓発フェア in 上海」を開催した。本フェアは2010年3月、北京で開催したフェアの第2回目にあたり、昨年同様日中両国政府及びコンテンツ業界団体の協同で開催された。

18日は上海国際貴都大飯店「帝王庁」において、中日著作権保護検討会「デジタル時代における中日著作権保護シンポジウム」が開催され、上海のサイト運営会社・配信会社・弁護士事務所等関係者約80名が聴講した。セミナーは、上海市版权局副局长 蔡紀万氏、CODA専務理事 後藤健郎氏の挨拶に始まり、上海市版权服务中心 王艳氏、CODA事務局長 永野行雄氏のプレゼンテーション、最後にパネリストとして協力律師事務所 游闽键氏、激動網副総裁 曹明氏、讀賣テレビ 大泉純子氏を招き、永野氏をモデレーターとしたパネルディスカッションを実施した。



シンポジウム

19日は浦東・正大広場の5階東平台において、一般消費者の著作権意識向上を目的に「正版? 盗版! 版权保护普法宣传日」イベントが開催された。中国のラジオ局でアナウンサーをしている王丹丹氏の歯切れの良い司会でテンポ良く進行され、中国人アーティスト朱樺氏、過陽陽氏、唐漢霄氏3名のミニライブから、ホンモノニセモノ比較展示、クイズで学ぶ!〇×クイズ大

会が行われ、会場に集まった一般客は楽しみながら知的財産権の重要性を学んだ。会場には延べ1,500名程の来場者が訪れ、500件を超えるアンケートが寄せられた。アンケートからは上海の一般消費者の知財保護に対する意識は高い一方で、正規品が手に入らないため不正商品も購入してしまうという実態が明らかになった。



ほんとはんとフェア

主催：上海版權服務中心  
上海版權保護協會  
上海版權紛争調解協會  
一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）

協力：日本国經濟産業省

後援：上海市版權局  
中国音像協會（CAVA）  
日本国不正商品対策協議會  
國際交流基金北京日本文化センター  
日本レコード協會北京代表処  
國際レコード産業連盟北京代表処  
アメリカ映画協會北京代表処

# Monthly Production Report

## 2011年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比88%の1,811万枚・巻、金額で同94%の222億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比82%の1,362万枚・巻、金額で同89%の158億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比111%の449万枚・巻、金額で同108%の64億円となった。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		3月実績						2011年1月～2011年3月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
シ	8cmCD	邦	2	0	57%	1	0	62%	9	0	60%	6	0	78%
		洋	-15	-	-	-2	-	-	-10	-	-	-1	-	-
		計	-13	-	-	0	-	-	-1	-	-	5	0	62%
ン	12cmCD	邦	2,788	20	97%	1,966	12	97%	12,227	27	131%	8,221	16	121%
		洋	306	2	7005%	224	1	5650%	395	1	2073%	287	1	1750%
		計	3,094	23	107%	2,190	14	108%	12,623	27	135%	8,508	17	125%
ル	小計	邦	2,790	20	97%	1,968	12	97%	12,237	27	131%	8,227	16	121%
		洋	291	2	6512%	222	1	5514%	385	1	2000%	286	1	1729%
		計	3,081	23	107%	2,190	14	108%	12,622	27	135%	8,513	17	125%
12cmCD アルバム	邦	7,483	55	76%	10,501	66	88%	24,278	53	81%	32,509	65	86%	
	洋	2,806	21	81%	2,921	18	82%	8,364	18	95%	8,215	16	91%	
	計	10,290	76	77%	13,423	85	87%	32,642	71	84%	40,725	81	87%	
CD 合計	邦	10,273	75	81%	12,469	79	90%	36,514	79	93%	40,736	81	92%	
	洋	3,098	23	89%	3,143	20	88%	8,749	19	99%	8,501	17	94%	
	計	13,371	98	83%	15,612	99	89%	45,263	98	94%	49,237	98	92%	
アナログ ディスク	邦	7	0	144%	10	0	82%	32	0	219%	46	0	164%	
	洋	1	0	76%	1	0	84%	6	0	189%	7	0	129%	
	計	8	0	133%	11	0	82%	39	0	213%	53	0	158%	
カセット テープ	邦	210	2	67%	139	1	56%	641	1	77%	487	1	72%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	210	2	67%	139	1	56%	641	1	77%	487	1	72%	
その他	邦	8	0	61%	10	0	119%	26	0	67%	26	0	76%	
	洋	24	0	244%	51	0	330%	86	0	218%	187	0	321%	
	計	32	0	140%	61	0	253%	112	0	144%	213	0	231%	
合計	邦	10,498	77	81%	12,628	80	89%	37,214	81	93%	41,295	83	91%	
	洋	3,123	23	89%	3,195	20	89%	8,841	19	100%	8,696	17	96%	
	計	13,621	100	82%	15,823	100	89%	46,055	100	94%	49,990	100	92%	

### ● 音楽ビデオ

		3月実績						2011年1月～2011年3月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	3,921	87	105%	5,711	90	102%	11,954	88	115%	15,471	86	131%
	洋	503	11	156%	429	7	166%	1,535	11	170%	1,861	10	211%
	計	4,425	99	109%	6,140	96	105%	13,489	99	119%	17,332	97	136%
テープ・その他		66	1	575%	224	4	668%	156	1	192%	599	3	222%
合計	邦	3,978	89	107%	5,908	93	105%	12,087	89	115%	15,994	89	133%
	洋	512	11	156%	456	7	166%	1,558	11	170%	1,937	11	208%
	計	4,490	100	111%	6,364	100	108%	13,645	100	120%	17,931	100	138%

### ● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	3月実績						2011年1月～2011年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ	13,621	75	82%	15,823	71	89%	46,055	77	94%	49,990	74	92%
音楽ビデオ	4,490	25	111%	6,364	29	108%	13,645	23	120%	17,931	26	138%
合計	18,111	100	88%	22,188	100	94%	59,700	100	99%	67,922	100	101%

### ● ビデオ（含音楽ビデオ）

	3月実績						2011年1月～2011年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	8,470	93	108%	4,844	70	32%	27,260	92	122%	41,708	85	111%
テープ・その他	657	7	175%	2,094	30	119%	2,270	8	158%	7,378	15	148%
合計	9,127	100	111%	6,939	100	42%	29,531	100	124%	49,086	100	116%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	3月実績						2011年1月～2011年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ	13,621	60	82%	15,823	70	89%	46,055	61	94%	49,990	50	92%
ビデオ	9,127	40	111%	6,939	30	42%	29,531	39	124%	49,086	50	116%
合計	22,748	100	92%	22,762	100	66%	75,586	100	104%	99,076	100	102%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ● トリプル・プラチナ

願いの塔	EXILE	2011.03.09	AMI
------	-------	------------	-----

##### ● プラチナ

Dejavu	倭田 来未	2011.03.02	AMI
絶体絶命	RADWIMPS	2011.03.09	EMI

##### ● ゴールド

爆笑スーパーライブ第4集！ 拝啓 中高音&予備軍の皆様へ	綾小路 きみまろ	2010.10.20	TE
ケツノボリス7	ケツメイシ	2011.03.16	TF
COLORS	清水 翔太	2011.03.09	SR

#### シングル

##### ● プラチナ

Eternal	赤西 仁	2011.03.02	WJ
バンザイVenus	SKE48	2011.03.09	CR
週末Not yet	Not yet	2011.03.16	C

##### ● ゴールド

ユメタマゴ	NYC	2011.03.09	JE
Answer	ノースリーブス	2011.03.02	ES
グレイテスト・ザ・ヒッツ 2011～2011	マキシマム ザ ホルモン	2011.03.23	VAP

#### ビデオ

##### ● トリプル・プラチナ

ARASHI 10-11 TOUR "Scene" ～君と僕の見ている風景～ STADIUM	嵐	2011.01.26	JA
--	---	------------	----

##### ● ゴールド

KOICHI DOMOTO CONCERT TOUR 2010 BPM	堂本 光一	2011.03.09	JE
結成10周年、メジャーデビュー 5周年記念！ Perfume LIVE@東京ドーム [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11]	Perfume	2011.02.09	TJC

### 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, 着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / C: 日本コロムビア / CR: 日本クラウン / EMI: EMI ミュージック・ジャパン / ES: EPIC レコードジャパン / JA: ジェイ・ストーム / JE: ジャニーズ・エンタテイメント / K: キングレコード / SE: エスエムイーレコーズ / SI: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズファクトリー / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / UM: ユニバーサルミュージック / VAP: ヴァップ / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン / YRC: よしもとアール・アンド・シー

## 洋楽

#### アルバム

##### ● プラチナ

グッバイ・ララバイ	アヴリル・ラヴィーン	2011.03.02	SI
ザ・リミックス	レディー・ガガ	2010.03.03	UM

※日付は発売日

## 有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### 「着うた®」

#### 邦楽

##### ● ミリオン

Best Friend	西野 カナ	2010.02.03	SE
-------------	-------	------------	----

##### ● ダブル・プラチナ

FUNKY TOWN	安室 奈美恵	2007.03.14	AMI
Distance	西野 カナ	2011.01.12	SE

#### 洋楽

##### ● トリプル・プラチナ

ミスター	KARA	2010.07.28	UM
------	------	------------	----

### 「着うたフル®」

#### 邦楽

##### ● トリプル・プラチナ

君って	西野 カナ	2010.10.27	SE
-----	-------	------------	----

##### ● ダブル・プラチナ

I Wish For You	EXILE	2010.10.06	AMI
Beginner	AKB48	2010.10.13	K
Gee	少女時代	2010.10.20	UM

##### ● プラチナ

運命のヒト	EXILE	2006.09.20	AMI
時の描片 ～トキノカケラ～	EXILE	2007.09.12	AMI
恋愛写真	大塚 愛	2006.11.04	AMI
BUT	倭田 来未	2007.03.14	AMI
you	倭田 来未	2005.12.07	AMI
何かひとつ feat. JAY'ED & 若旦那	JAMOSA	2011.03.02	AMI
Climax Jump	AAA DEN-O form	2007.03.21	AMI
JEWEL	浜崎 あゆみ	2006.11.29	AMI

※日付は配信開始日

##### ● ゴールド

ずっと。	青山 テルマ	2011.02.23	UM
ばいばいばいばいばいばいばい	あやまん JAPAN	2010.11.10	YRC
今のキミを忘れない	ナオト・インティライミ	2011.02.09	UM
声をきかせて	BIGBANG	2009.10.28	UM
遠く遠く	横原 敬之	2006.07.24	WJ

#### 洋楽

##### ● ゴールド

ワット・ザ・ヘル	アヴリル・ラヴィーン	2011.01.26	SI
----------	------------	------------	----

### 「PC 配信(シングル)」

#### 邦楽

##### ● ゴールド

Can't Wait 'Til Christmas	宇多田 ヒカル	2010.11.24	EMI
---------------------------	---------	------------	-----

#### 洋楽

##### ● プラチナ

ジャンピン	KARA	2010.11.10	UM
-------	------	------------	----

##### ● ゴールド

ルーズ・ユアセルフ	エミネム	2003.04.23	UM
-----------	------	------------	----

## 協会からのお知らせ

「音楽創造のサイクル」や「著作権」がいかに大切かということの周知を目的とした、著作権啓発キャンペーン『LOVE MUSIC』の特設サイト内での「MUSIC LOVER'S 私の一枚」のコーナーでは、様々な分野でご活躍中の50名を超える著名人の方々から、ご自身が最も大切にしている一枚（レコード、CD）と、それにまつわるエピソードをお寄せいただいております。キャンペーンがスタートした2010年12月17日より順次紹介していますが、この度、岸朝子さん、中島かずきさん、高須光聖さん（掲載順）の大切な一枚をアップしました。今後も順次掲載していきますので、ご期待下さい。



### ■ 特設キャンペーンサイトURL

パソコン

[http://www.riaj.or.jp/lovemusic\\_cpn/](http://www.riaj.or.jp/lovemusic_cpn/)

携帯

[http://www.rom-m.jp/lovemusic\\_cpn/](http://www.rom-m.jp/lovemusic_cpn/)



「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーン2010  
キャラクター部門グランプリ授賞作品  
音めちゃん

### THE RECORD No.618 2011年5月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 水村 雅博  
発行日 2011年5月10日  
発行 一般社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

パッケージの良さ、面白さは何だろう？と思い巡らしたとき、その魅力はさまざまですが、ジャケットも心をひきつける大きな要素ではないかと考え、今月号では、音楽ジャケットにスポットを当てました。

取材でお目にかかった皆さんのレコードやCDに対する想いに触れ、改めてジャケットを手にとると、その中に描き出される世界感に魅了されます。

実家には、溢れんばかりのアナログレコードが所狭しと並んでいたことを思い出しました。次回帰省の際には、久しぶりにジャケットを眺めながら、深い音色を楽しんでみたいと思います。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。